

MODUS R01

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

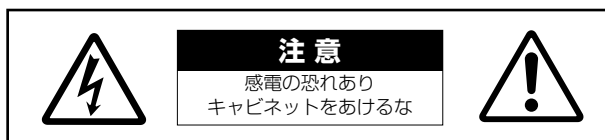
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

■ 本体に表示されている注意マークについて

本体には、次の注意マークが付いています。



これは、以下の内容の注意を喚起するものです。

「感電防止のため、パネルやキャビネットを外さないでください。この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。」

警告

電源/電源コード



電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源コード/プラグは、必ず付属のものを使用する。
他の電源コード/プラグを使用すると、発熱や感電の原因になります。

必ず実行



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

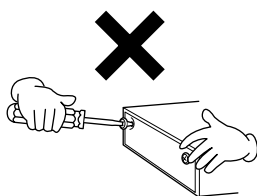
禁止

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。

禁止



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

禁止

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上にとろろそくなど火気のあるものを置かない。
とろろそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



電源コード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

必ず実行

注意

電源/電源コード



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



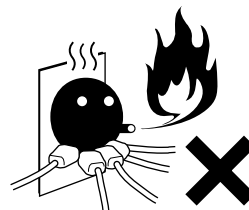
長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



たこ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



設置



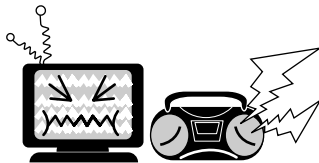
禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がかげがをした原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードを外した上で行なう。
コードをいためたり、お客様や他の方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

手入れ



必ず実行

本体のほこりや汚れは、柔らかい布で軽く拭き取る。
強く拭くと、ほこりの粒子で本体の表面に傷がつく場合があります。



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、もしくは水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。



必ず実行

水滴がついたらすぐに拭きとる。
極端に湿度が変化すると、本体表面に水滴がつく（結露すること）があります。水滴をそのまま放置すると、木部が水分を吸収して変形する原因になります。水滴がついた場合は、柔らかい布ですぐに拭きとってください。

使用時の注意



禁止

キーカバーで指などをささないように注意する。また、キーカバーや本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がかげがをするおそれがあります。



禁止

キーカバーやパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。
感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。



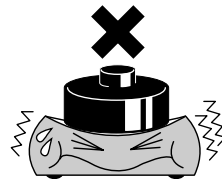
禁止

本体の表面に金属、陶器、その他硬い物を当てない。
表面にひびが入ったり、剥がれたりする場合があります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、スイッチや出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様や他の方々がかげがをした原因になります。



禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



イス(別売)



不安定な場所に置かない。

イスが転倒して、お客様や他の方々がけがをする原因になります。

禁止



イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない。

このイスは楽器演奏用です。イスを遊び道具や踏み台にすると、イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

禁止



イスには二人以上ですわらない。

イスが転倒したりこわれたりして、お客様がけがをする原因になります。

禁止



必ず実行

イスのネジを定期的に締め直す。

イスを長期間使用すると、イスのネジがゆるむことがあります。ネジがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。



必ず実行

イスの脚で床やたみを傷つけないよう注意する。

イスの脚でフローリングの床やたみを傷つけることがあります。イスの下にマットを敷くなどして、床やたみを保護されることをおすすめします。



禁止

イスを手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

変色/変質の原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布、または水を固くしぼった柔らかい布をご使用ください。

- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、MIDI データ、WAVE データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

調律について

調律は必要ありません。

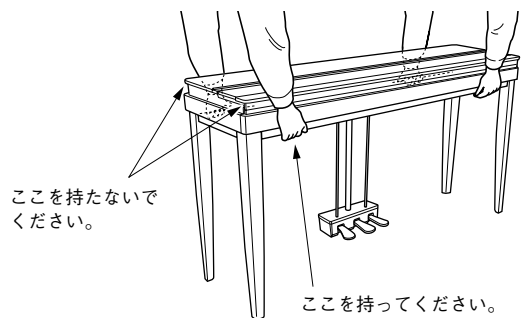
お引っ越しの際は

通常の荷物と一緒に運びいただけます。本体は立てかけたりせず、必ず水平にしてお運びください。また、大きな振動、衝撃を与えないでください。



注意

本体を移動するときは、必ず本体の底面を持ってください。キーカバーや屋根を持つと、本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



ご使用の前に

このたびは、ヤマハ MODUS R01をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございました。

演奏を十分にお楽しみいただくため、本書をお読みください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

特長

自然な鍵盤タッチ ナチュラルウッド(NW) 鍵盤 象牙調仕上げ<ホワイト>

象牙調仕上げ鍵盤は、象牙に近い適度な吸湿性があるので、指が滑りにくく、しなやかなタッチ感が得られます。また、鍵盤の色も外観に調和するよう仕上げられています。

白鍵にはアコースティックピアノの鍵盤と同様に木材を使用しているため、従来の電子ピアノを越えるグランドピアノのような重量感のある弾き心地を楽しめます。また、グランドピアノと同様に、ペダルを踏まずに音をつなげる奏法や高速の同音連打も可能です。

フルコンサートグランドピアノの音をデジタルで録音(AWMダイナミックステレオサンプリング)

「AWM」とは楽器そのものの音をデジタル録音し、精度の高いデジタルフィルター技術を加え、リアルに再現するヤマハ独自のサンプリング方式です。R01の音色「ピュアCFボイス」は、ヤマハフルコンサートグランドピアノからサンプリングし、音の良さを忠実に再現できるように、一音一音丁寧に調整してあります。これにより、立ち上がりが高く輪郭がはっきりした、弾きごたえのある音に仕上がっています。また、鍵盤を弾く強さに応じて複数の波形をサンプリング(ダイナミックサンプリング)しており、豊かな表現を実現します。

さらに、ダンパーペダルを踏んだときの響板や弦の共鳴音をサンプリングした「サステインサンプリング」、鍵盤を離したときの微かな発音をサンプリングした「キーオフサンプリング」を採用し、ぜいたくな音作りを行なっています。

付属品(お確かめください)

- 保証書
- ユーザー登録のご案内*
* ユーザー登録の際に必要なプロダクトIDが記載されています。
- 取扱説明書(本書)
- 電源コード
- コードホルダー(4個)
- 譜面立て

■ 電源コードを接続する

最初に本体底面の [AC IN] 端子にプラグを差し込み、次にコンセント側 (家庭用 AC100V) のプラグを差し込みます。

⚠ 警告

電源は必ず AC100V を使用してください。

⚠ 警告

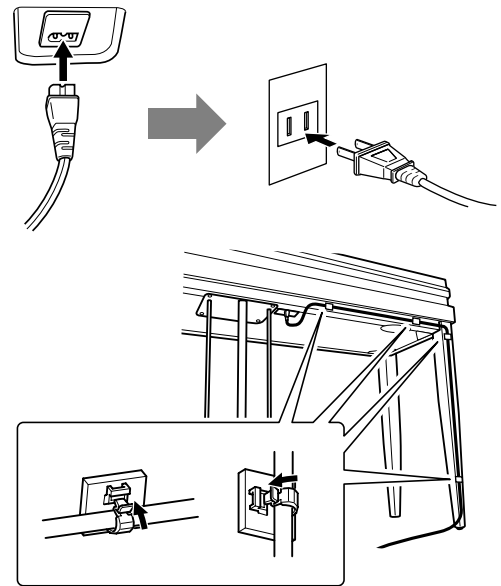
電源コードは、必ず付属のものをお使いください。他の電源コードを使用すると、発熱や感電の原因になります。

⚠ 注意

長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

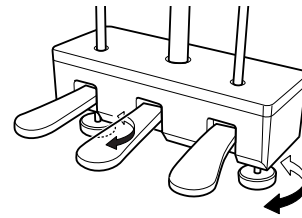
楽器背面に、付属のコードホルダーを貼り付けて、電源コードを留めます。

コードは、左右どちら側に留めてもかまいません。コンセントから近い方に留めましょう。



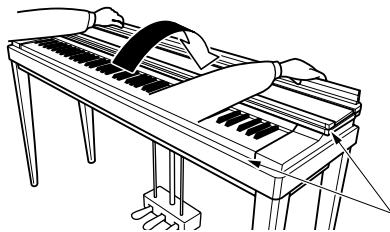
■ ペダルを固定する

ペダルのアジャスターを回して、床にぴったりつけます。



■ キーカバーを開ける

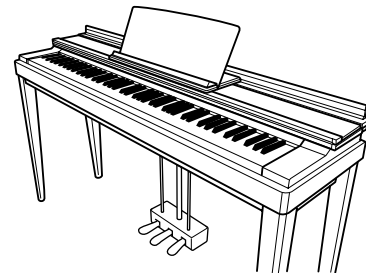
本体正面のくぼみに手をかけてキーカバーを持ち上げ、両手でゆっくりと後ろへ倒します。



⚠ 注意

手や指をはさまないように注意

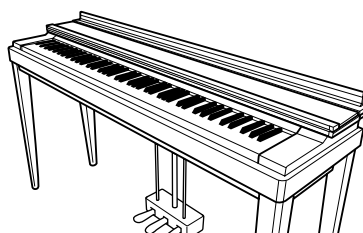
キーカバーの上に譜面立てを置きます。



製品の仕様上譜面立ての透明なパネルが若干前後に動く場合がありますが、安全上問題はありません。

■ キーカバーを閉める

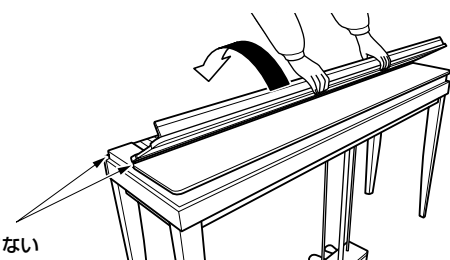
譜面立てを楽器からおろします。



⚠ 注意

手や指をはさまないように注意

キーカバーの上部を両手で持ってゆっくりと手前に倒します。



⚠ 注意

キーカバーを開閉するときは、両手で静かに行ない、途中で手を離さないでください。また、ご自分や周りの方、特にお子様などが、手や指をはさまないようにご注意ください。

楽器を演奏する

準備が済んだら実際に楽器を使ってみましょう。

■ 電源を入れる

[POWER]スイッチを押して、電源を入れます。

電源が入ると [MASTER VOLUME] マスターボリューム ダイアルにある電源ランプが点灯します。



電源を切るときは、もう一度 [POWER] パワー スイッチを押します。

⚠ 注意

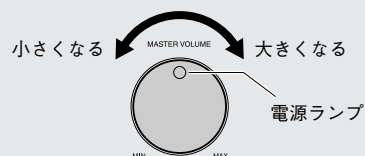
電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。RO1を長時間使用しないときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

■ 音量(ボリューム)を調節する

[MASTER VOLUME] マスターボリューム ダイアルを回して調節します。実際に鍵盤を弾いて音を出しながら、音量を調節してください。

⚠ 注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



■ 音の高さを微調整する

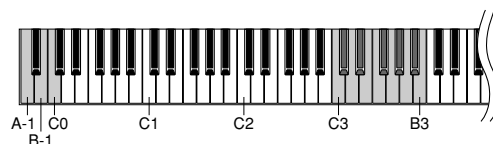
楽器全体の音の高さを微調整する機能です。合奏のときや、CDの再生に合わせて演奏するときなど、ほかの楽器やCDの再生音などと音の高さを正確に合わせたい場合に使います。

設定範囲：427.0～453.0 Hz (=A3)

初期設定：440.0 Hz

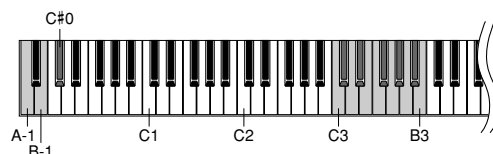
音の高さを上げる(0.2Hz単位)

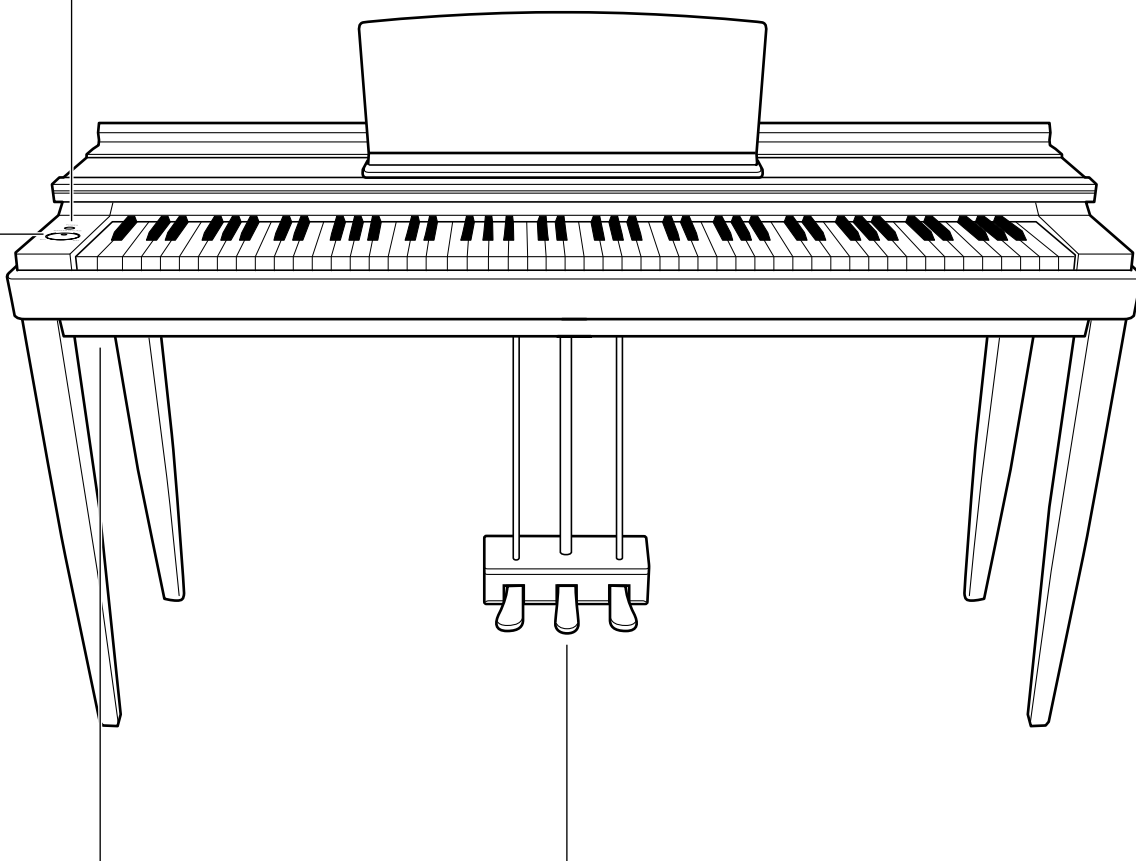
A-1とB-1とC0鍵盤を同時に押したままC3～B3鍵盤のどれかを押します。



音の高さを下げる(0.2Hz単位)

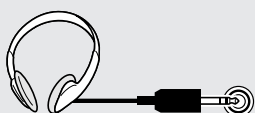
A-1とB-1とC#0鍵盤を同時に押したままC3～B3鍵盤のどれかを押します。





■ ヘッドフォンを使う

別売のヘッドフォンを フォーンズ [PHONES] 端子に接続して使います。
ヘッドフォンを接続すると自動的にスピーカーから音が出なくなります。



⚠ 注意

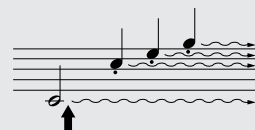
大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

■ ペダルを使う

ペダルには、右のペダル(ダンパーペダル)とまん中のペダル(ソステヌートペダル)、左のペダル(ソフトペダル)があります。これらはピアノ演奏で使われます。

右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても弾いた音を長く響かせることができます。
ダンパーペダルはハーフペダル機能に対応しています。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く。

ハーフペダル機能とは

ペダルを踏んで音が響きすぎたとき、踏み込んだ状態からペダルを少し戻して音の響きを抑える(音の濁りを減らす)機能です。

まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。



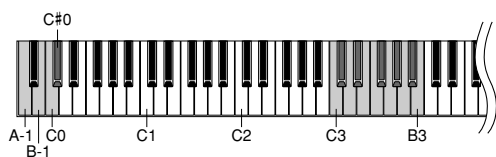
ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く。

左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくすることができます。(ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前に踏みます。)

初期設定に戻す

A-1とB-1とC0とC#0鍵盤を同時に押したままC3~B3鍵盤のどれかを押します。



Hz (ヘルツ)とは

音の高さを示す単位です。(音の高さは音波の振動数によって決まります。1秒間に何回振動するかという数値の単位がHzです。)

困ったときは

現象	考えられる原因	解決法
楽器の電源が入らない。	電源プラグが差し込まれていません(本体側と家庭用コンセント側)。	電源プラグを本体と家庭用(AC100V)コンセントに、確実に差し込んでください(7ページ)。
^{パワー} [POWER] スイッチを押して電源を入れたとき、または切ったとき、「カチッ」や「ポツッ」と音がする。	電気が流れたためです。	異常ではありません。
楽器から雑音が出る。	楽器の近くで携帯電話を使っています(または呼び出し音が鳴っています)。	楽器の近くでは、携帯電話の電源を切ってください。近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
全体的に音が小さい。まったく音が出ない。	全体音量が下がっています。	[MASTER VOLUME] ^{マスターボリューム} ダイヤルで音量を上げてください(8ページ)。
	ヘッドフォンを接続しています。	ヘッドフォンのプラグを抜いてください。
特定の音域で音の高さ、音質がおかしい。	この楽器の音色は、ピアノ本来の音をできる限り忠実に再現しようとしております。その結果、音域により倍音が強調されて聞こえるなど、音の高さや音域が異質に感じる場合があります。	異常ではありません。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。	異常ではありません。
ダンパーペダルの効きが悪い。	ダンパーペダルを踏んだまま電源を入れたためです。	故障ではありません。ダンパーペダルを踏み直すと機能が回復します。

仕様

サイズ/質量	寸法 ()内はキーカバーを開けて譜面立てを置いた場合	幅	1,402mm
		高さ	763mm (965mm)
		奥行き	382mm
	質量		40kg
操作子	鍵盤	鍵盤数	88
		鍵盤種	ナチュラルウッド(NW) 鍵盤 象牙調仕上げ<ホワイト>(白鍵に木材を使用)
	ペダル	ペダル数	3
		ペダル機能	ダンパー(ハーフペダル対応)、ソステヌート、ソフト
音源/音色	音源	音源方式	AWMダイナミックステレオサンプリング
		ダイナミックステレオサンプリング	4
		サステインサンプリング	○
		キーオフサンプリング	○
	発音数	最大同時発音数	128
プリセット	音色数	1(グランドピアノ音色)	
効果	タイプ	リバーブ(固定)	○
		ダンパーレゾナンス(固定)	○
ファンクション	全体設定	チューニング	○
接続端子	ヘッドフォン		○
アンプ/スピーカー	アンプ出力		12W×2
	スピーカー		楕円(12cm×6cm)×2 + 2.5cm×2
電源	定格電源		AC100V 50/60Hz
	消費電力		25W
付属品	同梱品		保証書、ユーザー登録のご案内、取扱説明書(本書)、電源コード、コードホルダー(4個)、譜面立て

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

別売品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150/HPE-160
専用固定イス	BC-103WH

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
下記の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点など

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。

● 製品の状態は詳しく


修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理のご依頼/修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理ご相談センター

● 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30
(祝祭日および弊社休業日を除く)

● ナビダイヤル  **0570-012-808**
(全国共通番号) ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)

● FAX 053-463-1127

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45 (浜松サービスステーションは 8:45～17:30)
(祝祭日および弊社休業日を除く)

* お電話は、電気音響製品修理ご相談センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	FAX 011-512-6109
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	FAX 03-5762-2125
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	FAX 053-462-9244
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	FAX 052-652-0043
大阪サービスセンター	〒564-0052	吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング2F	FAX 06-6330-5535
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4	FAX 092-472-2137

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

国内営業本部 ピアノ企画部 企画グループ

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL 03-5488-6795

PA・DMI事業部

EKBマーケティング部 CL・PKグループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1
TEL 053-460-3275

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター

受付日:月曜日～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間:10:00～18:00(土曜日は10:00～17:00)

フリーダイヤル  **0120-834-808**

(IP電話、携帯電話などからおかけになる場合TEL 053-460-5272)

サポート: <http://www.yamaha.co.jp/support/>

電子ピアノ/キーボードのホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイークラブ

<http://www.music-eclub.com/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

●名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。